

### 菊池支部現地検討会（キュウリ I P M 展示ほ等）及び会議の開催

菊池地域の抑制キュウリは、高温期からの栽培のため、アザミウマ類・コナジラミ類の媒介するウリ類退緑黄化ウイルス（CCYV）、メロン黄化えそウイルス（MYSV）の被害が年々増加しています。このため、通常の薬剤防除に加えて、微小害虫を捕食する天敵製剤スワルスキーカブリダニと近紫外線除去フィルム、防虫ネット等の物理的防除による総合的防除体系の確立微小害虫及びウイルス病の抑制効果と実用性を確認する展示ほを設置しています。

去る10月10日、技術部会では、この展示ほと現地の状況の検討会を行いました。展示ほでは慣行区と比較して微小害虫やCCYV、MYSVの発生が少なく効果が出ています。実際に対策展示ほや現地の状況を確認することで技術部会員の意識の共有化が図れました。現地後は、今後の対策を地域ぐるみで実施する方法を検討するため会議も行いました。今後も関係機関とともに対策を講じていきます。



展示ほ検討風景



会議風景